

# OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟  
2009年6月13日発行 第7号

# JUFA Kansai

第87回関西学生サッカーリーグ  
2009年6月13日（土）・14日（日） 第8節

## 関西学生サッカーリーグ第8節

第38回 関西学生サッカー選手権大会決勝より

Photo: UNN関西学生報道連盟



### 先制点でチームに弾み！

（写真：チームの優勝に大きく貢献  
関西大・金園英学選手）

5月30日から6月6日の期間で開催された第38回 関西学生サッカー選手権大会では関西大が3年ぶり5回目の優勝を成し遂げ、準優勝の大院大、第3位の同大とともに夏の全国切符を手に入れた。そしていよいよ、その中絶も開けリーグが再開……。前期は残り4試合。冬の全国切符を手に入れるため、年間王者を目指し、どのチームも負けられない戦いが続く！

#### ■6月13日（土）@洛西浄化センター公園（アクアパルコ洛西）芝生球技場

11：30 Kick off 大教大（9位）－大体大（10位）

5節以降、惜しい敗戦が続いたが「僅差な試合はできてきている」と自信を見せる入口豊監督。選手権でも苦戦はなめながらも準優勝の大院大を相手に互角以上の戦いを演じた。対する大体大は第7節、立命大相手に競り勝ち迎えた選手権では優勝した関西大の前に涙をのみ3年連続の全国とはならなかった。ともにリーグ浮上を狙うには今日の戦いは負けられない。

14：00 Kick off 大院大（7位）－大産大（12位）

大院大の守備の柱、吉井直人は、「最近2試合で我慢や集中を覚えた。これを継続させる事」と、まずはしっかりした守備から入るサッカーで上昇を狙う。堅守が光り結果を残した選手権での戦い、残りの試合に弾みをつけるだろう。第7節、桃山大相手に1-0で競り勝った大産大、「桃山大相手に零封出来た事に意味がある」と横引実監督。やっと守備の計算が立てられただけに、連勝街道に乗りたい。

#### ■6月14日（日）@三木総合防災公園陸上競技場

11：30 Kick off びわこ大（5位）－関学大（1位）

第7節を終了し、「力の差がそんなにない、ここからだんだんと勝ち点差がつかってくるが今はとても僅差」と望月聡監督。確かに自チームも順位変動しながらの現状5位。中位で位置しながらも「目に見えないプレッシャーもある」とも望月監督。対する関学大、選手権でもチームに貢献した攻撃のリーダー阿部浩之は、「相手に引かれた時の策が問題。どうやって崩すかを突き詰めた」と新たな課題を打ち破りに掛かる。冬の全国切符を手に入れるため、ここからがまた勝負だ。

14：00 Kick off 阪南大（8位）－同大（3位）

「いよいよ勢いでリーグ再開に入っているからね（東告史）」と弾みをつけたかった選手権では準優勝した大院大相手に惜敗した阪南大。これから上位との対戦が続くだけに、まずは今節で結果を出してそれを弾みにしたい。対する同大は「選手権で良い流れをつくって後半戦に臨んでいきたい（望月慎之監督）」との言葉通りで選手権を終えた。しかし、「4年生にとっては最後インカレに挑めるかどうか。リーグ戦では上位チームとの対戦も残っており、一歩も引けない（望月監督）」

#### ■6月14日（日）@西京極総合運動公園補助競技場

11：30 Kick off 京産大（11位）－立命大（6位）

第7節、昨年王者の阪南大相手に連勝と良い形で中絶を迎えた京産大。まずは中位へ食い込む為にも今日の試合は負けられない。対する立命大・米田隆監督は「（総理大臣杯を逃したが）リーグ戦ではしょげることなく、強気でやりたい。リーグ戦でも下位チームから突き上げられるのでなく、自分らで何かをつかみ取ろうとする気持ちが大事だ」と語る。京都決戦の勝利が叫ばれる。

14：00 Kick off 関西大（2位）－桃山大（4位）

勝ち点で並び、得失点差2と首位の関学大に迫る関西大。「選手権で優勝してその流れでいきたい（金園英学）」との言葉通り、選手権では結果を残した。しかし、「目指しているのは日本一なのでまだまだ満足できない。満身しないで行ってきたい」と清水孝太主将は気を引き締める。一方、第7節では大教大相手に競り負け4位となった桃山大。「今足りない事は、前からの積極的な守備や、相手への威圧感」と岡田翔太郎。前へ、前へのサッカーでまずは先制を狙う。ここから。

### 立命館大学 vs 大阪体育大学

6戦無敗ながら、ここ3試合を引き分けと勝ち切れない立命大と、現在4連敗中と苦境に立つ大体大の対戦。ボールが落ち着かない展開から18分、押し気味の大体大がFW⑩川西翔太の左足シュートで先制。しかし、リードされ、逆に落ち着きを取り戻した立命大のパスが回り始め、29分、MF⑧福本尚純の美しい直接FKが決まり試合は振り出しに戻る。追いつかれた大体大だが、その後も優勢は変わらず、41分に左CKからの流れから、FW⑪山本翔一がDFに当てながらも決め、2-1とリードして前半を終わる。

60分、大体大・川西の3点目で試合は決まったかに思えたが、ここから立命大が猛反撃に出る。64分、FW⑧伊藤了が自ら得たPKを決め1点差とするとわずか2分後、FW⑬藤田浩平が冷静に蹴りこみあつという間に3-3に追いつく。しかし、勝利への執念で上回る大体大は、交代出場のMF②⑩松澤憲伸のシュートが立命大GK①鈴木彩貴の頭上を抜き3度目のリードを奪う。大体大はこの日9本のシュートを放った川西がハットトリックのチャンスを逃すものの、粘る立命大のパワープレーをはね返し、リーグ中断前のゲームで連敗を止め、第2節以来の2勝目を飾った。

(文:サッカーライター 貞永 晃二)

# 立命大 3 - 4 大体大

■5月16日(土) 11:30 kick off  
@西京極総合運動公園補助競技場

#### ◆得点◆

大体大 18分 10 川西 翔太(11 山本 翔一)  
立命大 29分 8 福本 尚純  
大体大 41分 11 山本 翔一(9 松本 良太)  
大体大 60分 10 川西 翔太(11 山本 翔一)  
立命大 64分 18 伊藤 了  
立命大 66分 13 藤田 浩平(24 加藤 恒平)  
大体大 73分 20 松澤 憲伸(10 川西 翔太)

### 阪南大学 vs 京都産業大学

# 阪南大 2 - 3 京産大

■5月16日(土) 14:00 kick off  
@西京極総合運動公園補助競技場

#### ◆得点◆

阪南大 20分 34 南條 駿  
阪南大 38分 14 東 浩史(34 南條 駿)  
京産大 44分 10 小笠原 侑生  
京産大 46分 10 小笠原 侑生  
京産大 85分 28 松本 俊吾

まだ2勝と前年王者らしさを見せられない7位阪南大。一方3連敗で11位に沈む京産大。ともに勝利でリーグ中断を迎えたい。まず試合を動かしたのは阪南大。この日1トップを務めた1年生FW 34 南條駿がオフサイドぎりぎり飛び出し冷静に決め先制する。南條の3試合連続弾でリズムをつかんだ阪南大が攻勢を強め、38分MF④東浩史の追加点で2-0。しかし、ロスタイムに無用なファウルからピンチを招き、京産大にPKを献上しリードを1点とされ折り返す。

後半、ゴールネット修理によるキックオフの遅れが影響したのではないだろうが、やや緊張感を欠いた入りだった阪南大DF。その混乱を突いて、46分にこぼれ球を叩き込んだのは前半にPKを決めていた京産大FW⑩小笠原侑生だ。振り出しに戻った試合だが、攻撃のテンポが上がらない重苦しい展開が続く。それでもともに選手を入れ替えて3点目を狙いに行くが、なかなか相手DFをこじ開けられない。そして85分、京産大がカウンターから今日2度目のPKを得て、倒されたMF 28 松永俊吾が自ら右スミに決めると、これが貴重な決勝点となる。「自滅です」東のコメントに阪南大全員の気持ちを表していた。

(文:サッカーライター 貞永 晃二)

### 同志社大学 vs 大阪教育大学

小雨降る中始まったこの試合。序盤、決定機こそ多くなかったものの、ボールを支配したのは同大。すると迎えた前半40分。DF②林佳祐が左サイドを駆け上がりクロスを上げると、ゴール前、待ち構えていたのはFW②辻智人。豪快にネットに突き刺し、見事先制ゴールを挙げた。「サイド突破からの得点。目指す攻撃のかたちが出た」と、同大・望月慎之監督。この1点で試合を優位にし、前半を折り返した。

後半もDF林、MF 37 杉山和毅のサイド突破を中心に攻め入る同大。60分、林が中央に入れたボールをMF⑩北森陽介が軽くパスし、ゴール前にいたMF⑧徳村真介へ。惜しくも枠を捉えることはできなかったものの、その後も細かくパスをつなぎ、大教大ゴールに迫る。

しかし、「最後まで諦めない姿勢をもっている」と前節の試合後、入口豊監督も話していたよう、粘り強さがある大教大。試合終盤、連続CKを得るなど最後まで同大ゴールを目指す。同大DF 26 佐川雅也のクリアやGK①川原隆広のパンチングにしのがれ、1-0のまま試合終了。勝利を掴んだ同大は勝ち点1差で上位2校に迫る、3位につけた。

大教大・入口監督は「やっぱり同志社には個人技がある」と、振り返りながらも「僅差な試合はできてきている」とチームを評価。3試合無失点と守備も冴える同大・望月監督はバランスの調整の成果を噛みしめていた。

(文:同志社スポーツアトム編集部 伊藤 紗由里)

# 同大 1 - 0 大教大

■5月16日(土) 11:30 kick off  
@山城総合運動公園太陽が丘球技場B

#### ◆得点◆

同大 40分 28 辻 智仁(2 林 佳祐)

第87回関西学生サッカーリーグ  
GAME RESULT 2009年5月16日(土) 第7節



びわこ成蹊スポーツ大学 vs 関西大学

前節、試合終了間際に勝利を掴んだびわこと引き分けに持ち込まれた関西大。対称的な両者の試合が動いたのは開始後まもなくのことだった。

前半10分、「1試合1点がノルマ」と話す関西大FW⑩金園英がMF⑧藤澤典隆のクロスをヘディングで叩き込み先制。抜群の決定力をもつエースのゴールで試合を有利にした。この1点で「崩れた」とびわこ大MF⑦小池遼。56分には関西大FW⑦佐藤悠希が追加点。スライディングしながらループ気味に放ったボレーシュートが美しくゴールネットに揺らした。運動量を上げ、ディフェンスライン、中盤、前線と連動した攻守をみせた関西大。安定したサッカーで試合を制し、2-0と勝利を収めた。

「取りに行かなあかんと焦り、間延びした。そこを関大に回されたかな」と苦しげに試合を振り返った小池。一方、関西大キャプテン⑤清水孝太は「前節の反省を生かし、変化に対応できた」と笑顔を見せた。しかし、「目指しているのは日本一。まだまだ満足できない。満身しないですやっていきたい」とさらなる飛躍を誓う。また、5試合連続ゴールと波に乗る金園も「まだ外している場面もある」と、今後ますます食欲にゴールを狙っていく意気込みを見せた。

(文:同志社スポーツアトム編集部 伊藤 紗由里)

びわこ大 0 - 2 関西大

■5月16日(土) 14:00 kick off  
@山城総合運動公園太陽が丘球技場B

◆得点◆

関西大 10分 17 金園 英学(8藤澤 典隆)  
関西大 56分 7 佐藤 悠希(8藤澤 典隆)

桃山大 0 - 1 大産大

■5月16日(土) 11:30 kick off  
@鶴見緑地球技場

◆得点◆

大産大 17分 7 宮本 健二  
(10 橘 章斗・5 瀧北 昌平)

劇的な試合展開を続けて勢いに乗る桃山大だが、松本直也監督を始め、選手たちからも「何よりも先制点が欲しい。ゲームをこちらがコントロールしたい」と後手に回る展開を避けたい旨の発言が多く聞かれた。対する大産大は、遂に初白星を挙げて、意気揚々。それでも櫛引実監督は「この試合を勝たないと駄目。先日の勝ち点や勢いが意味を無くしてしまう」と慎重に試合に臨んだ。

両者の先制点に対する意気込みがハッキリと現れた、攻撃的な試合展開が開始早々から見られる。ボールが両サイドのゴール前を往来する激しいゲームになった。欲しかった先制点を奪ったのは大産大。MF⑩橘章斗がMF⑦宮本健二にスルーパスを通す。浮き球だったため、宮本もすぐにシュートに持ち込めなかったが、それでもGKの位置を冷静に確認していた。フワリとしたボールをGKの頭上に通しゴールを決める。

17分という早い時間帯の先制点で、その後も両者にビッグチャンスが訪れるが、入りそうで入らない場面が続く。結果的に大産大が辛くも逃げ切り、連勝を達成した。

(文:サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

関西学院大学 vs 大阪学院大学

前節の関西大戦をロングボール主体の攻撃で、引き分けに持ち込んだ大院大は、この日も同じプランを描いていた。FW⑨岡村和哉は、「自分が潰れ役になれば良いし、そこで何らかのチャンスを作れば」と体を張る覚悟十分の気合を試合前に述べた。対する関学大は、DF⑩高田博元主将が、「毎試合、自分たちの課題を洗い出して、それを解決し向上させて来られている」と充実を実感したコメント。首位ということもあり、表情は明るい。

しかし、関学大は、大院大のプランに苦しむ。前半わずか1本しかシュートを打てなかったように、まるでペースが掴めない。大院大も圧倒したわけではなかったが、関西大戦で心得た戦い方を貫き、関学大にサッカーをさせなかった。

後半になり、ピッチをワイドに使い始めた関学大がシュートチャンスを多く迎えるようになる。そしてエース格に成長したMF⑩阿部浩之を投入。さらに攻撃のテンポをアップさせる。だが、阿部対策を練っていた大院大は、「彼にはマンマークを付けることにしていました」(藤原義三監督)と言う通り、キーマンを封じ込む。これが成功して、関学大は得点成らず。大院大も無得点での引き分けとなったが、狙いにはめめたのは大院大だった。

(文:サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

関学大 0 - 0 大院大

■5月16日(土) 14:00 kick off  
@鶴見緑地球技場